

欄に数値またはコメントを記入

スコアシート		実施設計段階							
配慮項目		環境配慮設計の概要記入欄		評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体	
Q 建築物の環境品質								3.2	
Q1 室内環境					0.40		-	3.2	
1 音環境				3.8	0.15	3.4	1.00	3.6	
1.1 室内騒音レベル				3.0	0.40	3.0	0.40		
1.2 遮音				5.0	0.40	4.1	0.40		
1 開口部遮音性能		サッシ遮音性能T-2以上を採用		5.0	1.00	5.0	0.30		
2 界壁遮音性能					-	2.0	0.30		
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)		専) 宿泊室でLr値=30			-	5.0	0.20		
4 界床遮音性能(重量衝撃源)		専) 宿泊室でLr値=30			-	5.0	0.20		
1.3 吸音				3.0	0.20	3.0	0.20		
2 温熱環境				2.7	0.35	2.8	1.00	2.7	
2.1 室温制御				3.2	0.50	3.4	0.50		
1 室温				3.0	0.38	3.0	0.57		
2 外皮性能		窓SC=0.452窓U=3.68外壁U=0.95屋根U=0.49、外気に接する床U=0.90		4.0	0.25	4.0	0.43		
3 ゾーン別制御性				3.0	0.38		-		
2.2 湿度制御				1.0	0.20	1.0	0.20		
2.3 空調方式				3.0	0.30	3.0	0.30		
3 光・視環境				2.6	0.25	3.8	1.00	3.0	
3.1 昼光利用				1.8	0.30	4.2	0.30		
1 昼光率		専) 宿泊室: 1.25% ≤ [昼光率]		1.0	0.60	5.0	0.60		
2 方位別開口					-		-		
3 昼光利用設備				3.0	0.40	3.0	0.40		
3.2 グレア対策				3.0	0.30	3.0	0.30		
1 昼光制御				3.0	1.00	3.0	1.00		
3.3 照度				3.0	0.15	3.0	0.15		
3.4 照明制御		室内の複数部分に対して、リモコンで細かい照明制御ができる		3.0	0.25	5.0	0.25		
4 空気質環境				4.1	0.25	3.7	1.00	3.9	
4.1 発生源対策				5.0	0.50	5.0	0.63		
1 化学汚染物質		内装材はF☆☆☆☆建材を全面的に使用し、かつホルムアルデヒド以外のVOCにも同様に配慮		5.0	1.00	5.0	1.00		
4.2 換気				2.0	0.30	1.6	0.38		
1 換気量				3.0	0.50	3.0	0.33		
2 自然換気性能					-	1.0	0.33		
3 取り入れ外気への配慮				1.0	0.50	1.0	0.33		
4.3 運用管理				5.0	0.20		-		
1 CO ₂ の監視					-		-		
2 喫煙の制御		全館禁煙としている		5.0	1.00		-		
Q2 サービス性能				-	0.30	-	-	3.4	
1 機能性				3.9	0.40	2.0	1.00	3.3	
1.1 機能性・使いやすさ				3.0	0.40	1.0	0.60		
1 広さ・収納性					-	1.0	0.50		
2 高度情報通信設備対応					-	1.0	0.50		
3 バリアフリー計画				3.0	1.00		-		
1.2 心理性・快適性				5.0	0.30	3.5	0.40		
1 広さ感・景観		専) 宿泊室CH2550			-	4.0	0.50		
2 リフレッシュスペース					-		-		
3 内装計画		建物全体のコンセプトや機能が明確であり、内装計画に反映している		5.0	1.00	3.0	0.50		
1.3 維持管理				4.0	0.30		-		
1 維持管理に配慮した設計		トイレは清掃しやすい内装材、維持管理の異なる床材を採用しない等		4.0	0.50		-		
2 維持管理用機能の確保		建物の維持管理に適切な設備を設置している		4.0	0.50		-		
2 耐用性・信頼性				3.5	0.30		-	3.5	
2.1 耐震・免震・制震・制振				3.8	0.50		-		
1 耐震性(建物のこわれにくさ)		1.25倍の耐震性能		4.0	0.80		-		
2 免震・制震・制振性能				3.0	0.20		-		
2.2 部品・部材の耐用年数				3.6	0.30		-		
1 躯体材料の耐用年数				3.0	0.20		-		
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		弾性アクリル系吹付30年		5.0	0.20		-		
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔				3.0	0.10		-		
4 空調換気ダクトの更新必要間隔				3.0	0.10		-		
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		給水汚水雑排水管の主要用途3種についてB以上で、Eは不使用		5.0	0.20		-		
6 主要設備機器の更新必要間隔				2.0	0.20		-		
2.4 信頼性				3.0	0.20		-		
1 空調・換気設備				3.0	0.20		-		
2 給排水・衛生設備				2.0	0.20		-		
3 電気設備				3.0	0.20		-		
4 機械・配管支持方法		耐震クラスA対応		4.0	0.20		-		
5 通信・情報設備				3.0	0.20		-		

3 対応性・更新性			3.4	0.30	3.2	1.00	3.3
3.1 空間のゆとり				-	3.4	0.50	
1	階高のゆとり			-	3.0	0.60	
2	空間の形状・自由さ	専)0.1≦[壁長さ比率]<0.3		-	4.0	0.40	
3.2 荷重のゆとり				-	3.0	0.50	
3.3 設備の更新性			3.4	1.00		-	
1	空調配管の更新性		3.0	0.20		-	
2	給排水管の更新性		3.0	0.20		-	
3	電気配線の更新性	ケーブルラック・FEP管配線等により仕上材を痛めずに更新・修繕	5.0	0.10		-	
4	通信配線の更新性	ケーブルラック・PF管配線等により仕上材を痛めずに更新・修繕	5.0	0.10		-	
5	設備機器の更新性		3.0	0.20		-	
6	バックアップスペースの確保		3.0	0.20		-	
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.30	-	-	3.0
1 生物環境の保全と創出			3.0	0.30	-	-	3.0
2 まちなみ・景観への配慮			3.0	0.40	-	-	3.0
3 地域性・アメニティへの配慮			3.0	0.30	-	-	3.0
3.1 地域性への配慮、快適性の向上			3.0	0.50	-	-	
3.2 敷地内温熱環境の向上			3.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-	-	-	3.7
LR1 エネルギー			-	0.40	-	-	4.4
1 建物外皮の熱負荷抑制		BPIm=0.77	5.0	0.20	-	-	5.0
2 自然エネルギー利用			3.0	0.10	-	-	3.0
3 設備システムの高効率化		BEI=非住宅0.70 住宅(専用部) -	5.0	0.50	-	-	5.0
4 効率的運用			3.0	0.20	-	-	3.0
集合住宅以外の評価			3.0	1.00	-	-	
4.1	モニタリング		3.0	0.50	-	-	
4.2	運用管理体制		3.0	0.50	-	-	
集合住宅の評価				-	-	-	
4.1	モニタリング			-	-	-	
4.2	運用管理体制			-	-	-	
LR2 資源・マテリアル			-	0.30	-	-	3.1
1 水資源保護			2.2	0.20	-	-	2.2
1.1 節水			1.0	0.40	-	-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.0	0.60	-	-	
1	雨水利用システム導入の有無		3.0	0.70	-	-	
2	雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.30	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減			3.4	0.60	-	-	3.4
2.1 材料使用量の削減			2.0	0.10	-	-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用			3.0	0.20	-	-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用		-	3.0	0.20	-	-	
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用		ビニル系床材:床、ボード:天井、断熱材:スラブ	5.0	0.20	-	-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材			2.0	0.10	-	-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み		内装が乾式工法で分別性に配慮	4.0	0.20	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.3	0.20	-	-	3.3
3.1 有害物質を含まない材料の使用			3.0	0.30	-	-	
3.2 フロン・ハロンの回避			3.5	0.70	-	-	
1	消火剤		-	-	-	-	
2	発泡剤(断熱材等)	ODP=0.01未満かつ、GWP(100年値)が50未満	4.0	0.50	-	-	
3	冷媒		3.0	0.50	-	-	
LR3 敷地外環境			-	0.30	-	-	3.4
1 地球温暖化への配慮		LCCO2排出率75%	4.0	0.33	-	-	4.0
2 地域環境への配慮			3.0	0.33	-	-	3.0
2.1 大気汚染防止			3.0	0.25	-	-	
2.2 温熱環境悪化の改善			3.0	0.50	-	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制			3.0	0.25	-	-	
1	雨水排水負荷低減		3.0	0.25	-	-	
2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
3	交通負荷抑制	駐車場の設置、管理用車両スペースの確保、出入口を広くすることで出入を円滑にしている	4.0	0.25	-	-	
4	廃棄物処理負荷抑制		2.0	0.25	-	-	
3 周辺環境への配慮			3.2	0.33	-	-	3.2
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40	-	-	
1	騒音		3.0	0.50	-	-	
2	振動		3.0	0.50	-	-	
3	悪臭		-	-	-	-	
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制			3.0	0.40	-	-	
1	風害の抑制		3.0	0.70	-	-	
2	砂塵の抑制			-	-	-	
3	日照障害の抑制		3.0	0.30	-	-	
3.3 光害の抑制			4.4	0.20	-	-	
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	光害チェックリストを過半満たす、広告物照明がない	5.0	0.70	-	-	
2	屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30	-	-	